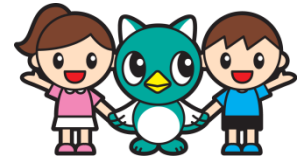


平成 26年度 すこやか親子世代の取り組み



【重点取り組み】

「親子のこころの健康を地域で支える健康づくりに取り組みます」

乳幼児期からのより良い家族関係を築くために、親の子どもへの接し方のスキルを高める新たな事業を検討します。また、地域で孤立することなく子育てするために、父親への支援を行うこと、地域住民・関係機関と一緒に地域の特性に合わせた「子育てしやすいまちづくり」を行うことを、地域ごとに実施している地域会議*（地域情報交換会等）を中心に推進します。

1. 子育てしやすいまちづくりについて

地域の現状や特性に合わせた、活動展開をすすめています。昨年度に引き続き、すこやか親子部会の委員に地域会議（情報交換会）や地域事務局会議**等に参加いただき、地域活動について話し合いを重ねました。

地 域	開催回数 (情報交換会回数)	主な取り組み内容
米 本	3回 (1回)	マリヤ保育園との情報交換、地区組織の定例会や行事参加・見学などを通し、様々な団体・世代の人たちにもトップスを知ってもらうことを第一歩として取り組んだ。(子育て中の人と地域の人とのつながりづくりの模索)
村 上	6回 (1回)	住民（機関）参加の地域づくりをすすめることを検討した。 地域の子育て支援に関わる人（機関）たちが、子育てしやすいまちづくりという視点から、自分たちの活動について振り返り、担っている役割やこれからできそうなことを考えてもらう機会として情報交換会でグループワークを実施した。
高 津	5回 (1回)	母子保健推進員と民生委員とともに、高津地区を歩いて、公園で遊ぶ親子を見守り外遊びの大切さを参加者みんなで再確認した。 高津地域には10代の母が多いので、アプローチ方法を検討していたが、市内全域の10代の母を対象としたプロジェクトチームを立ち上げ検討を重ねている。 情報交換会では子育て中の親子に必要な情報を伝えるためにどうしたらよいか話しあった。
緑が丘	3回 (1回)	子育て世代の現状について話しあい、どのようにしたら地域とつながることができるか意見交換を行った。 防災をテーマに自治会の防災活動についても情報交換を行った。情報交換会では参加者とグループワークを行い、地域情報マップを作成、子育て中の母たちに情報提供した。
ゆりのき台	3回 (1回)	昨年度の情報交換会を受けて、世代間交流という視点で何ができるか話しあった。 今年度の情報交換会では「地域ぐるみの子育て 子育てしやすいまちとは？」をテーマにグループワークを行い、具体的に自分たちの住む地区で取り組んでいること、今後できることについて話しあった。
睦	4回 (1回)	母子保健推進員の地区勉強会と併せて、防災対策からできる地域のつながりづくりについて考えた。情報交換会では防災対策について情報提供し、子育てしやすいまちづくりについての取り組みの可能性を探った。
勝田台	34回 (1回)	子育て中のママや子育て支援団体の方々で構成する「子育て世代のいざという時の防災対策実行委員会」を5月に立ち上げ、子育て世代も参加したくなる防災訓練をテーマに話し合いを重ね、11月15日地区合同防災訓練にて「乳幼児のための防災ブース」を開設し活動した。また、世代を越えたまちづくりの一環としてやちよ元気体操の自主グループの協力のもと「子育てママのリフレッシュ」をすてっぷ21勝田台にて月1回開催した。

大和田	7回 (1回)	世代間交流の機会を作るにはどうすればよいかを話しあった。大和田支会主催の母子で参加する「生け花教室」の方と、昨年度から引き続き子育て世代の現状について情報交換をしながら今後の展開について話しあった。
八千代台	4回 (1回)	自治会や支会などが主催している世代間交流を目指したイベントへの協力参加を継続的に実施。また、関係機関や団体の協力のもと八千代台地区子育て情報冊子の見直しを行い、地域の子育ての現状や子育て支援について情報交換を行う。情報交換会では、防災（子育て世代への情報発信、サポート）をテーマにグループワークを実施した。

- * 地域会議とは、「子育てしやすいまちづくり」の実現にむけ、関係機関や住民組織が集まり、情報交換や課題を検討し実践する会議です。現在9つの地域会議（地域情報交換会）が持たれています。
- ** 地域事務局会議とは、地域会議の企画運営をする会議で、地域子育て支援センターの職員と母子保健課の地区担当保健師が担っています。



2. 親の子どもへの接し方のスキルを高める事業について

地域子育て支援センターと母子保健課で構成する子育て学習講座プロジェクトチームにおいて、事業検討の話し合いを重ね、今年度は試行を行いました。

CSP（アメリカの虐待防止プログラム コモンセンスペアレンティング）という手法を活用し、7回コースの講座試行を1回、また母たちが参加しやすいよう「子どもに伝わる言い方、ほめ方、しつけ方」に特化した2回コースの講座試行も2回行いました。

今後、参加者からの感想や意見などを参考に講座の流れや展開方法の見直しをし、来年度の本格実施を計画しています。

- ・プロジェクト会議の開催 19回開催

3. 父親への支援について

地域子育て支援センターと母子保健課で“夫婦で子育て（お父さんの子育て参加）”について検討するプロジェクトチームを立ち上げ、検討を行いました。

今年度1年間は学習の年として、先駆的な取り組みを行っている自治体に事業の見学に行ったり、研修に参加し、プロジェクト会議の中で支援の在り方や方向性について話し合いを重ねています。来年度に八千代市における父親の子育て参加に関する状況を把握するため、アンケート調査を計画しています。

- ・プロジェクト会議の開催 5回開催
- ・千葉県男女共同参画センターフェスティバル2014&ネットワーク会議 参加
- ・ハッピーマタニティフェスタ in いちかわ 見学
- ・千葉市パパスクール、プレパママ講座 見学
- ・八千代市 男女共同参画課へのヒアリング

【その他の主な取り組み】

1. 子どもの食育に関する取り組み

「食を通じて子どもの社会性と食の自己管理能力を身につけ、しなやかな身体、豊かなこころを育てます」

本取り組みは「やちよ食育ネットワーク協議会」が行う事業と、母子保健・子育て支援事業を中心に進められている事業の2本柱で推進しています。

(1) やちよ食育ネットワーク協議会が行う事業

◇食育推進事業「めざせ！食の達人 農業の先生とのふれあい授業」の実施

平成24年度より開始した、市内小学校全校で農業生産者を小学校に招き、学級担任・栄養教諭等と連携して食育授業を実施する、食育推進事業「めざせ！食の達人 農業の先生とのふれあい授業」を実施。市内小学校22校中、平成26年度学校独自で農業生産者と関わりのある授業を実施予定のある学校を除く、14校を対象に授業コーディネートを実施。



▲小学校での授業の様子。写真媒体を用いて人参の生産・出荷等について説明する農業生産者

- ・やちよ食育ネットワーク協議会・分科会合同会議 1回開催
- ・やちよ食育ネットワーク協議会 分科会会議 2回開催
- ・やちよ食育ネットワーク協議会 1回開催

◇「学校での食育を推進するための学習会」の開催

市内小学校の食育推進のため、「学校での食育を推進するための学習会」を開催。農業生産者、小学校教諭、栄養教諭及び学校栄養職員、やちよ食育ネット分科会委員が参加し、食育推進事業「めざせ！食の達人 農業の先生とのふれあい授業」の事業説明や、農業生産者・栄養教諭による授業展開の紹介、学校独自の食育の取り組み等の事例発表を行いました。

◇広報紙「やちよ食育マガジン」の発行

食育に関する情報発信のため、広報紙「やちよ食育マガジン」を発行し、学校関係者、小学校保護者、食育や農業に関わる機関などに配布。今号より、小学校は全学年保護者に配布し、より広く食育の周知を図りました。（平成26年11月 vol.21発行）

◇実践事例の発表

千葉県や関係機関からの依頼により、八千代市の食育推進計画や「やちよ食育ネット」の組織と活動について下記のとおり視察受け入れと事例発表を行いました。

- ・千葉県主催「市町村食育担当者会議」（平成26.5.23）…「八千代市における食育推進計画策定の経緯及び計画に基づく実践事例」事例発表
- ・千葉農業事務所主催「千葉地域食育活動交換会」（平成26.11.18）…「八千代市におけるやちよ食育ネットの設立から今日の運営について」授業視察・事例発表
- ・山武農業事務所主催「山武地域食育活動交換会」（平成26.12.15）…「八千代市の食育活動体制とやちよ食育ネット」

(2) 母子保健・子育て支援事業を中心とした食育

妊娠期からの継続した食育事業を展開しています。（平成27年3月末現在）

◇妊娠期・・・妊婦に対しての食育（プレママ教室参加162名）

◇乳児期・・・4か月・10か月児赤ちゃん広場事業での食育（参加者2,408名とその保護者）

◇幼児期・・・もうすぐ1歳半おやこ広場での食育（参加者738名とその保護者）、みんなで食育事業での食育（44回実施 参加者親子710名）、公民館・サークルからの依頼による出前食育講座（7回実施 参加者226名）、子育て応援ポケット事業での食育（相談人数213名 リーフレット配布枚数2,695枚）、

◇学童・思春期・・・学童保育所等からの依頼による出前食育講座（8回実施 参加者219名）、公民館からの依頼による出前調理実習（3回実施 参加者29名）、他部署からの依頼による中高生向け食育講座（2回実施 参加者11名）

◇その他・・・公民館からの依頼による祖父母向け孫育て講座（1回実施 参加者8名）

2. 思春期保健ネットワーク会議の取り組み

「思春期の子は自分や他者を大切に、生と性の課題について適切に対処します」

本取り組みは医師、助産師、学校関係者、保護者などのメンバーで構成された八千代市思春期保健ネットワーク会議を中心に推進しています。

(1) 八千代市思春期保健ネットワーク会議の開催

今年度は新たに NPO 法人の委員も加えて計5回の会議を行い、下記(2)～(5)の「思春期の生と性」の活動について検討しました。

(2) 思春期保健シンポジウムの開催

保護者が生と性の課題をはじめとした思春期保健の重要性を認識し、各家庭での取り組みに繋げることを目的に、平成19年度より思春期保健シンポジウムや研修会を開催しています。

思春期保健シンポジウム「10代の生と性」Ⅷ テーマ：当事者の声から知る思春期の生と性

平成27年
2月1日(日)

思春期の性に関する多様な問題について理解を深めることを目的に、「性暴力被害のリアルとこれから」「思春期女子のリアルな戸惑い」「どう伝える？多様な生と性」「放っておけない！思春期男子のリアル」の4題をテーマに当事者や八千代警察署の方などをお迎えしてオムニバス形式でお伝えしました。当日は134名の参加があり、関心の高さがうかがえました。



「放っておけない！思春期男子のリアル」
JASH 代表 山口いわお氏

(3) 中学生向けリーフレットの配布

性に関する正しい知識を得られるサイトや相談機関を子ども達に情報提供するため、中学生向けリーフレットを作成しました。今年度は中学3年生を対象に各学校の状況に合わせて配布しています。



(4) 「八千代市オリジナル生と性の教育教材」の評価報告書の作成及び周知（作業部会）

「八千代市オリジナル生と性の教育教材」の評価として、授業前後のアンケート結果を教材使用の有無で比較して効果を測定し、結果を報告書にまとめました。その内容を市教研体部会、養護部会で報告した上で今年度の活用について推奨しました。



(5) 「生と性の教育教材貸出リスト・外部講師リスト」の更新

平成21年度に作成した「生と性の教育教材貸出リスト・外部講師リスト」の更新のため、市内小中学校等に調査を行っています（平成27年2月実施）。講師リストについては学校だけではなくPTAをはじめとする関係機関にも平成27年度の配布を予定しています。

(6) 思春期保健ネットワークニュースレターの発行

保護者や教員に、思春期の子どもの現状や思春期保健ネットワーク会議の取り組みを伝えることを目的とし、ニュースレターの発行をしています。

平成27年3月 第13報発行（内容：思春期保健シンポジウム報告）